

# 肺切除術(右肺・左肺)を受けられる方へ

(ID: \_\_\_\_\_)

様

本人または家族の方: \_\_\_\_\_ (本人との続柄: \_\_\_\_\_)

主治医: \_\_\_\_\_ 説明者: \_\_\_\_\_

説明日: \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
 (病棟・病室: \_\_\_\_\_ 病棟・ \_\_\_\_\_ 号室)

病名		推定入院期間	約 _____ 日程度
症状		特別な栄養管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

	入院前	手術前日	手術日の朝	手術後当日	術後1日目~4日目	術後5日目~退院日
達成目標	精神的・身体的に不安なく手術に臨むことができる			手術侵襲から順調に回復過程が進み、術後合併症を起こさず経過できる痛みのコントロールができる		痛みのコントロールができる不安なく社会生活への復帰ができる
治療処置薬剤	麻酔科医の診察があります。 必要に応じて歯科受診があります。 	手術側の脇毛を剃ります。 麻酔科医の説明があります。 夕食後浣腸を行います。 安定剤を飲んで休みます。	麻酔科の指示で内服する場合があります。 手術着に着替え、肺塞栓予防の靴下をはきます。 8時頃から点滴を始めます。	9時頃手術室へ向かいます。手術後はICUへ入室します。 手術中は胸腔ドレーン、心電図、点滴、尿の管、酸素、硬膜外チューブ(背中から持続的に痛み止めが入ります)などがついています。	手術の翌日に病棟へ戻ります。 術後3日間は朝夕に抗生剤の点滴があります。 状態を見ながら酸素吸入の終了、胸腔ドレーン・尿の管を抜きます。硬膜外チューブは薬液がなくなり次第抜きます。 痰を出しやすくするために吸入を行います。イソジン液でうがいを行います。	毎日医師の回診があります。 適宜傷口の消毒があります。胸腔ドレーンを抜いたあとは約1週間後に抜糸します。手術創は抜糸がありません。 
検査	採血、心電図、肺機能などの検査があります。				適宜、採血・胸部レントゲンがあります。	
栄養管理	入院時に、医師・看護師・管理栄養士によって、栄養状態を評価し、必要に応じて入院栄養指導を行います。					
食事	食事ができます。	麻酔科より絶飲食の指示があります。	絶飲食です。	 朝より食事を開始します。		
排泄	トイレに行けます。		尿の管が入っています。排便はベッド上での排泄となります。		尿の管が抜けたあとからトイレに行けます。 	
活動	院内は自由です。		ベッド上安静となります。麻酔が覚めれば、介助のもと寝返りができます。		尿の管が抜ければ歩行可能です。ドレーンが入ったままで歩けます。歩行開始時説明します。	
清潔	入浴可能です。		胸腔ドレーンと硬膜外チューブが抜けるまでは体を拭きます。 		医師の許可があれば入浴できます。傷が濡れないよう保護しますので、看護師にお知らせください。	
説明指導	入院・手術について説明します。	手術室・ICUの看護師から説明があります。	貴重品はご家族へ預けてください。	<b>ご家族の方へ</b> 手術中はお部屋か6階ディルームでお待ち下さい。手術後医師より手術の結果を説明します。手術後ICUで面会していただきます。以後は付き添いは必要ありません。	診断書・証明書の必要な方は早めに提出してください。	看護師より退院後の生活や次回受診の説明があります。